

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんごS			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日 ~ R7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日 ~ R7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 19日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動の楽しさや、季節に即したイベント事、全体合同活動や日常ではあまり経験することができない活動に参加出来る事。	会社全体で7事業所あり、他事業所との合同活動や大人数での活動を通して、大勢の前で発表したり、普段あまり経験できないようなシチュエーションを通して利用者様の経験や自信に繋がるような支援を行っている。	毎年新しい活動や取り組みなどを増やしている状況の為、1度出来たことをさらにブラッシュアップしていき毎年行える活動にできるよう各職員のレベルアップを随時図っていきたい。
2	各家庭環境に配慮し、通常の登校が出来ている児童以外にも不登校で学校に行けていない児童の受け入れも行い、ご本人様や保護者様の意向を尊重した上で過ごすことができる場所の提供が出来ていると思う。	作業療法士などの知識を活かし、専門的な支援を行えるよう日頃から活動内容等に力を入れ、学校での生活が難しい方でも事業所では過ごせるような活動を組めるよう日々研鑽している。	利用者様、保護者様の意思を尊重しながら、通所支援で行える支援の幅を増やし、求められていることがしっかり行えるように研修等知識を深められる環境を整えていきたい。
3	様々な家庭環境がある中で保護者様、利用者様の意見をしっかりと受け止め通所支援に限らず、居宅介護や短期入所など必要なサービスの提供を行うことができています。	自事業所の利用者様に合わせた支援を行えるよう、各利用者様の特性などしっかりと把握したうえで日頃の支援や活動を行い、必要な支援が行える事業所の紹介などにも力を入れている。	契約時やモニタリング時に限らず、日頃から利用者様、保護者様の意見に耳を傾け必要とされている支援が提供できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員によって支援の知識などに差が出てしまっている事。	専門書等の知識をもっと全体で共有し、各職員も研修でなかったことをもっと現場に落とし込めるように共有していく	各利用者の特性について専門職職員を交えた会議などもっと回数を増やしていきたい。 各従業員が研修先で学んだことを実践できる状況の把握や整理をしていきたい。
2	近隣の児童クラブや児童館、町内会などと連携が取れていない。	コロナや感染病など外部との接触が難しくなったところから中々交流を持つことができなくなりました。	実際に連絡を取り合い交流が出来るように相談できる機会を設ける。 町内での催し物から利用者を含めて参加できるようにしていきたい。
3	保護者会のような保護者同士が集まれる環境が提示できていない。	普段の利用時間などで考えると中々保護者同士が都合を合わせて会う機会を設ける事が難しかったから。	保護者に実際集まってもらって家庭や学校などでの困りごとやどんな風に普段過ごしているのかを共有できる時間を提供していきたい。 複数事業所合同での活動時に保護者様にも一緒に見て頂ける環境作りをしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 できさーびす あいりんごS

公表日 令和7年 3月 26日

利用児童数 41

回収数 33

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84%	3%	0%	13%	人数が多い時は、少し狭く感じる時がある	普段使っていない所にも机を配置し活動スペースを少しでも広くしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	53%	11%	5%	31%	よく分からないが、職員の人数は多いので、適切だと思う。	今後も適切な配置数で支援をさせていただきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40%	15%	0%	45%	玄関先が分からない	スロープ等を買って設置していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	74%	0%	21%	5%	よく分からないが、お迎えに行った時子ども立と皆で掃除をしていた	今後も子ども達とも掃除の時間に綺麗にしていき、職員も来所前後で掃除をしていきます
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	79%	5%	6%	10%	個別計画書等で見たことがあるが、子どもを十分に理解してくれていると思う。また家での子も良く聞いてくれる	研修会等を通して今後もより良い支援ができるようにしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11%	16%	3%	70%	良く分からない	今後も個別計画書に沿った支援ができるよう、
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	71%	11%	0%	18%	いつも送迎の時に丁寧に説明してくれる。子どもにあった計画書を作ってくれていると思う	今後も作成後は保護者に具体的な説明をして、同意のもと支援が行えるようにしていきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14%	5%	0%	81%	ガイドラインがよくわからない。分からない部分も多いがしっかり支援してくれていると思う。	個別計画書を説明する際は、ガイドラインに沿った支援内容を具体的に説明していきます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37%	32%	5%	26%	送迎時に今日行った療育や活動の説明を行ってくれるその日は伝えてくれるが、計画に沿った支援が行われているか分からない時がある	送迎時に保護者の方に一日の様子や個別計画書に沿った支援を職員がしっかりと把握し説明できるようにしていきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9%	31%	34%	26%	季節に沿った行事を計画してくれているので子どもも来所を楽しみにしています	季節の行事や地域のイベントなどにも参加できるよう、活動内容を工夫していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9%	31%	34%	26%	今まで利用しているがまだそういった活動等はない	放課後児童クラブや地域の子どもと活動する機会はまだないので今後はしていきたいと思います。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58%	24%	11%	7%	契約する時に丁寧に説明してくれたと思う	今後も契約時や見学時に丁寧にしっかり説明を行っていきます
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	66%	18%	1%	15%	送迎の時に説明された	今後も個別計画書作成後には、
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5%	26%	45%	24%	来ていないと思う。良く分からない。	今後取り入れていきたい。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	82%	5%	0%	13%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26%	29%	18%	27%	定期的に普段の様子を聞いてもらっている。その日の出来事なんかは教えてもらっている。	今後も送迎時やモニタリング時などで継続的な支援を志していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	84%	11%	3%	2%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3%	29%	44%	24%	聞いたことがない	今後取り入れていきたい。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	60%	21%	5%	14%	色々相談させてもらう事がある。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	89%	8%	3%	0%	連絡をするとすぐに教えてくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	77%	17%	5%	1%	よくインスタを見ている。	今後も継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50%	26%	0%	24%	よくわからない。 そうだと思う。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10%	55%	32%	3%	避難訓練は定期的にされている。	マニュアルは作成しておりますので、保護者への説明をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63%	5%	13%	19%	避難訓練は子供を交えて行っている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	53%	32%	5%	10%	してくれていると思う。 よくわからない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	71%	21%	0%	8%	学校での怪我なんかも一応連絡をもらえている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	82%	11%	0%	7%	家でよくあいらんごの話題が出る。 先生方の事を信頼しているように見える。	今後も継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	82%	10%	0%	8%	次の日の活動を自分で見て楽しみにしている。	ありがとうございます。今後も楽しい活動を志していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	71%	21%	3%	5%	満足している。 色々とまた相談に乗ってほしい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		でいさーびす あいりんごS		公表日		令和7年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	勉強部屋など児童が集中できる配置にしたり、活動に合わせて配置を変えスペースを確保している。	特になし	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	適切に配置している。	特になし	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	視覚的に指示が入るように掲示物は工夫している。	玄関の段差やトイレなどはバリアフリーではない、今後スロープなどを購入していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	児童来所前来諸後に環境整備を行っている。	特になし	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	落ち着ける場所などは確保している	特になし	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々の申し送りや月に1度のミーティングなどで業務改善を行っている	特になし	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ご意見をいただき、職員間で共有している	特になし	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の申し送りや月に1度のミーティングなどで意見交換できている	特になし	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	特になし	今後は取り入れていきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部研修、法人研修は毎月行っている	今後も継続していく	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0%	100%	支援プログラムは5領域に沿った活動を考えている	公表はできていないので今後公表していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングはもちろん日々の送迎時のお話なども考慮して作成している	もっと専門的な知識を身に付けていく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	個別計画作成時の会議などで共通理解を深めている	今後も継続していく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	68%	32%	計画に沿った支援は行うようにしている	個別での関わりなどがさらに出来るよう人員、時間配分に余裕を持たせる必要がある	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87%	13%	両方の視野から日々の行動観察をおこなっている。	全従業員ができるようになる	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援内容は「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいを具体的な内容で作成できている	今後も継続していく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	行えている	今後も継続していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	工夫している	今後も継続していく	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	87%	13%	個別・小集団・集団と適切な組み合わせで行っている	今後も継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	平日は児童来所前、休日は前日に申し送りを行っている。	今後も継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	当日ではないが翌日に申し送りを行い共有している。	今後も継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	サービス確認表を基に日々の記録を取っている。	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的なモニタリングをとりその都度計画内容を修正している	今後も継続していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	75%	25%	行っている	今後も継続していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	87%	13%	自己決定をする力を育てるような活動や声掛けを行っている	日々の活動内容などももっと児童の選択した活動なども取り入れていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	87%	13%	児童発達管理責任者だけでなく児童の状況をよく理解した者も参加している。	特になし
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	障害福祉や保育、教育機関との連携は日々おこなっている	保健、医療（主治医や協力医療機関等）との連携は取れていない児童もいるので体制を整えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	行えているが、学校によっては年間計画・行事予定等をいただけないところもある。	学校にも理解を持っていただける取り組みをしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	そのようなケースはないが、必要とあればそのような機会を設ける	特になし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	現状ではそのようなケースはないが、必要とあればそのような機会を設ける	特になし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%	設けていない	今後研修などの機会を設けていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	放課後児童クラブや児童館との交流などは行っていないが、公園などで地域の子とも遊ぶことはある	放課後児童クラブや児童館との交流なども視野に入れた行事予定を組んでいきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	参加している	特になし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の状況が分かるように写真を使った連絡帳にするなどして送迎時など話し合いの機会は設けている	共通の理解などを持てるように継続していく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	特になし	家族等の参加できる研修の機会は設けていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学时や契約時の他にもご不明な点があれば質問いただき説明を行っている	特になし
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	こどもや保護者の意思の尊重している	特になし
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	同意を得ている	今後も継続していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	悩み等多くいただくがその都度対応させていたがいている	もっと専門的な知識を身に付けてより良い助言を行えるようになる

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	特になし	保護者会等を開催は開催していないので今後取り入れていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	対応している	今後も継続していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	定期的にHPやSNS等を活用し情報発信をしている	今後も継続していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	留意している	今後も継続していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードやタイムスケジュールなど視覚的な支援を取り入れている。	特になし
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	特になし	コロナの時期から地域交流が難しくなってしまうため今後開催できるよう検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを策定し、職員への周知を行っている。	HPなどで幅広く周知できるよう検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	87%	13%	特になし	策定し、訓練等実施が出来ている為全体への周知を再度行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	87%	13%	受診結果や病歴など個別ファイルを作成し各自確認できるような体制作りをしている。	事業所職員全員が把握できるように周知を再度行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	保護者から受診結果を教えてもらい、食事の提供がある場合は都度確認している。	事業所職員全員が把握できるように周知を再度行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	87%	13%	避難訓練等行っている。 事業所内の備品チェックや室内、良く行く公園の危険個所の確認もできている。	特になし
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87%	13%	避難訓練等行っている。 事業所内の備品チェックや室内、良く行く公園の危険個所の確認もできている。	特になし
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事業があった際に報告書の作成、共有を行っている。 共有の場に居なかった職員にも議事録を残し把握できるようにしている。	再発防止に向けて対策を検討していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年に数回研修を行っている。 月に1回チェックシートを用いて防止できているか事業所で確認している。	特になし
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	年に数回研修を行い全職員が周知できるように努めている。 契約時に身体拘束に当たる行為など説明をさせてもらっているが事業は現状ありません。	特になし	